

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介します!!

ながさきメーカー

長崎 maker

今月のmaker

斜面地・空き家活用団体つくる
代表 岩本 諭さん

若者の視点で長崎のまちづくりに取り組んでいる「斜面地・空き家活用団体つくる」。南山手町の古民家を拠点に、積極的に地域に入って、さまざまな活動をしながら「坂のまち」を盛り上げています!



築70年の古民家を改装した「つくる邸」で暮らす岩本さん。「朝、船の汽笛で目を覚まし、目の前に広がる長崎港を眺めている時が幸せです」と話してくれました。

代表を務める岩本さんが活動を始めたのは3年前。大学で斜面地の研究をしていた時、南山手町などへ足を運ぶうちに、坂のまちを好きになり、「たくさんの人に坂のまちの魅力を伝え、足を運んでもらいたい」と活動を始めました。

まずは「空き家を一戸再生してみよう!」と、仲間5~6人で活動を開始。自治会や大家さんの協力を得ながら築70年の古民家を見つけ、住める状態になるまでに約半年かかったそうです。

その後、活動拠点として「つくる邸」をオープンし、普段は数人で共有して暮らすシェアハウスとして活用しながら、不定期で、フリーマーケット、朝ヨガ、花火鑑賞会などのイベントを行っているそうです。活動を通して「地域に暮らす人の思いや歴史に触れることができ、そのたびにまちを好きになります」と話す岩本さん。

これからも若い力で地域を盛り上げていてください!



つくる邸

※随時、フェイスブックで情報発信中!「斜面地・空き家活用団体つくる」で検索!

つくる邸を大開放する オープンデーを開催

長崎港を眺めたり、お茶をしたりしながら、坂のまちにある「つくる邸」でゆったりとした時を過ごしてみませんか? コーヒー・紅茶などをご用意しています。どなたでも気軽にお越しください!

【日時】1月14日(土) 午前10時~午後5時
【問い合わせ】岩本氏 ☎090-1164-1251

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はたらきびと 輝く働き人



株式会社 丸本
あやの
若杉 綾乃さん

さまざまな包装用資材の企画デザイン・製造・販売のほか、包装用機械の販売なども行い、食品包装のほぼ全てに関わる事業を展開しています。若杉さんは営業職として入社して2年目です。

Q1. この企業に入った理由は?

就職活動中に参加した合同企業面談会で、事業内容の詳しい説明を聞いて、長崎市内にこんな企業があるんだ、と興味を持ったことがきっかけです。

Q2. どんな業務を担当していますか?

主に食品の包装に使われる袋や箱といった、パッケージの企画・デザインに、営業職として関わっています。お客様の商品に合った包装用資材や包装方法を選び、デザインについてお客様のご要望を聞き、社内のデザイナーと相談しながら、パッケージを作り上げていきます。

Q3. 仕事に関連して心がけていることは?



ご要望をしっかりと把握します

提示した案になかなかOKをいただけないときなど、力不足を感じることもあります。

休みの日などに、スーパーマーケットや道の駅などに行った時には、店頭に並んでいる商品の包装をじっくり見てしまいます。見るたびに新たな発見があり、その積み重ねがお客様へ提案する時、役に立つと考えています。

お客様のイメージを形にしていきます

Q4. 今後の目標は?

今まで以上に知識と経験を増やしていき、お客様の期待を上回るような提案ができるようになりたいです。長崎を感じさせる龍踊りや中華街、軍艦島といったデザインのご要望も多く、お客様と地域、両方のお役に立てる、やりがいのある仕事だと思ってがんばります。